

エコチルかながわ通信☆11月号☆



エコチル調査にご協力いただいている皆様。体調はいかがですか。

すでに出産を終えられ育児真っ最中の方、まさに今出産のために病院で待機されている方いろいろだと思います。かながわユニットセンターのエコチル調査参加者も800人を超え、皆様と一緒に「**未来の子どもたちのため**」にますますがんばっていきたいと思います。

ところで、エコチル調査をまだ知らない方は、ぜひ以下のアドレスにアクセスしてみてください。ホームページに載っている協力医療機関には、調査を担当している調査員がいますので、ぜひお声をかけてください。

<http://www.yokohama-cu.ac.jp/ecochil/>



♡みなさん、はじめまして♡

エコチル調査かながわユニットセンター副センター長の平原です。横浜市立大学医学部産婦人科を担当しています。今回は、エコチル調査にご参加いただきありがとうございました。

私は、日本での先天異常モニタリングセンター長も兼ねており、今日は、先天異常について少しお話をしたいと思います。

先天異常とは、出生時にすでに存在する形態的、機能的な異常であり、新生児の5-6%に存在すると言われています。先天異常の発生原因は、多くの場合、特定できない不明なもの、もしくは遺伝的因子等が関与したものに なります (約90%)。わずかですが、残りが外的因子が関与して発生しています。その原因にな りうる環境因子・外的因子の関与は、常に監視やモニタリングをすることによっ て発見でき予防可能になります。そのためにも監視・モニタリングするための体制を取って調査することが重要です。モニタリングするものには、日常生活の中 の多数の物質 (いわゆる環境ホルモン物質) も含まれます。

エコチル調査では、妊娠前期よりお母様の生体試料 (血液・尿) をいただき、また、お子様が13歳になるまでの長い期間追跡調査をさせていただくことによって、子どもの成長に与える影響因子を特定してい き、その環境因子 (外的要因) を監視することが可能となります。

エコチル調査は長く続く調査です。皆様の強力なサポートがなくては実現できません。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

